

令和7年度 第2回中学生体験学習 実施要項

1. 目的

紀北農芸高等学校の施設・設備を中学校生徒に開放して、紀北農芸高校の教育についての体験学習を実施するとともに、実習風景や校内施設の見学等をおこなうことで、本校の学習内容についての理解を深め、中学校における進路指導の充実に資する。

2. 実施日 令和7年10月18日（土）

3. 場所 県立紀北農芸高等学校 伊都郡かつらぎ町妙寺1781

4. 日程

12:50	～	13:10	受付
13:10	～	13:50	オリエンテーション
14:00	～	14:40	体験学習Ⅰ
14:50	～	15:30	体験学習Ⅱ
15:30	～	15:40	感想文・アンケート記入
15:40	～	15:45	閉講式・解散
15:45	～		個別質問（希望者のみ）

（注）日程は一部変更することがあります。

5. 体験学習の内容 裏面参照

- ①販売 [出荷調整]
- ②食品製造 [加工食品の製造]
- ③草花 [花苗の植え替え]
- ④野菜 [野菜の播種]
- ⑤果樹 [果実の観察と糖度測定]
- ⑥土木・環境デザイン [土木基礎実習]

※天候等諸事情により内容を変更することがあります。

6. 参加対象

中学校第3学年で、紀北農芸高校に興味や関心をもつ生徒及び保護者、並びに中学校教職員（参加生徒のない学校にあっても、教員又は、保護者だけでも参加いただけます。）

7. 参加申し込み

申込期限 令和7年10月3日（金）
申し込み方法 ア、イどちらかの方法でお申し込み下さい。

ア 県立・市立高等学校（体験入学・学校説明会）参加申込統一用紙から下記のアドレスにお送り下さい。また、保護者引率がある場合については、備考欄に保護者氏名を記入下さい。

アドレス：oka-n005@wakayama-c.ed.jp

イ 同封の中学校体験学習参加申込書を記入の上、下記あてに郵送でお申し込み下さい。

〒649-7113 伊都郡かつらぎ町妙寺1781
紀北農芸高等学校 中学生体験担当係 岡
TEL 0736-22-1500 FAX 0736-22-1501

8. 服装等並びに持参品

- ・体操服（体操服で登校していただいてもかまいません）
- ・制服では体験学習に参加できません。体操服の半袖等作業のしやすい服装でもかまいません。
- ・筆記用具 ・飲み物 ・タオル

9. その他

- ※当日午前7時現在でかつらぎ町（かつらぎ）に「暴風警報」「大雨警報」「洪水警報」のいずれかが発令されている場合は、中止いたします。また、在住地域に上記警報が発令されている場合は、中学校でご判断下さい。
- ※当日、かつらぎ町（かつらぎ）に警報の発令がないときでも、午前7:00現在、中飯降駅に向かうJR和歌山線の上下線のいずれかで運行を見合わせており、運行再開の見込みが立たない場合は、体験学習を中止します。

◎ 体験学習内容

- ①販売…農産物のパッキング（関係学科…生産流通科）
農産物のパッキングを体験することで、スーパーマーケットや農産物直売所などに陳列されている農産物の流通の一端について学習します。
- ②食品製造…加工食品の製造（関係学科…生産流通科）
農産物を利用し、加工を行い、保存性を高める基礎的な学習を行います。
- ③草花…花苗の植え替え（関係学科…施設園芸科）
鉢への植え替え作業を行い、草花の生育について学習します。
- ④野菜…野菜の播種（関係学科…施設園芸科）
秋野菜のたねまきを体験し、苗づくりの大切さを学習します。
- ⑤果樹…果実の観察と糖度測定（関係学科…施設園芸科）
秋の果実（カキ、ミカンなど）の形態を観察し、品質決定の重要な要素である糖度の簡便な測定方法を学習します。
- ⑥土木・環境デザイン…土木基礎実習（関係学科…環境工学科）
土木の基礎的な作業を学習します。

◎本校各学科の紹介及び専門科目

（１）生産流通科

1学年では食品製造コース、販売流通コースの両コースの学習内容について幅広い知識・技術を習得します。2学年では各コースに分かれて、専門性を高め、それぞれの分野で活躍できる人材の育成を目指します。

○「食品製造」コース

農産物加工品の開発・製造の知識や技術を習得し、オリジナル製品の商品化を目指します。

○「販売流通」コース

販売活動を通じて消費者のニーズを把握し、消費者の購買意欲を促進できる販売活動を目指します。

《専門科目》

農業と環境	課題研究	総合実習	農業と情報
食品製造	食品微生物	食品製造基礎	食品製造応用
販売流通基礎	販売流通応用	農業経営	食品流通
市場調査			

（２）施設園芸科

草花、野菜、果樹など、園芸作物の栽培知識・技術を習得させるとともに、農業が私達の生活と、環境に深く結びついていることを理解させる。環境に調和した農業の必要性を知り、実践するための能力を持った農業技術者の育成を図る。

《専門科目》

農業と環境	農業と情報	栽培と環境	地域資源活用
栽培機械	アグリビジネス	草花	野菜
果樹	総合実習	課題研究	基礎実習

（３）環境工学科

土木工学の基礎に加え環境科学の内容を取り入れ、自然と共生できる環境型社会の建設を目指した学習を深める。測量や設計に関する基礎的な知識や技術に加え、都市整備・土木構造設計・施工・CAD製図等、より専門的な知識や技術の習得を目指し、快適な環境を創造する観点から社会基礎工学を学習することで、新しい時代の要請に応えられる技術者の育成を図る。2学年では、土木コース、環境デザインコースに分かれて、専門性を高め、それぞれの分野で活躍できる人材の育成を目指します。

《専門科目》

農業と環境	課題研究	総合実習	農業と情報
測量	土木リテラシー	土木基礎力学	土木構造設計
土木施工	社会基礎工学	CAD製図	防災デザイン